

臨床宗教師と医療

「医療現場に宗教者を」という試みは日本ではまだなじみが薄い。エビデンスを重視する科学の世界に「宗教」が関わることに違和感を覚える医療者は少なくないだろう。しかし、だからこそ必要なのである。

死や病といった災厄に直面する患者は、合理的説明だけでは納得も受容もできない。「なぜ自分が…」という問いは、科学的な回答を期待しているのではないからだ。「無宗教」と称する患者のベッドに、おびたしいお守りが結びつけられているのを見ることがある。健康な時には根拠がないと見向きもしなかった「健康食品」を試みる人も少なくない。こうした「合理性」「科学」では臍に落ちない人間の苦悩・葛藤に、じっくり耳を傾け、受け止める存在が求められている。

宗教者は、人智の及ばない事象に対し「無力」を生きるすべもっている。人間の限界を知り、「たましい」や「いのち」「死後生」「神」など、科学では証明できないものに「信仰」という信頼を寄せている。人生において次々と襲ってくる不安の荒波に、信仰という錨を下ろしているため、揺れ動きつつも耐えることができる。宗教者の存在自体が信仰をもたない人のよりどころにもなりうるとすれば、それは信仰をもつからにほかならない。同じ苦悩をもつ人間としての宗教者が、「生死を超越した存在」への信仰を頼りに患者と向き合うことで、「無宗教」や、信仰を異にする患者であっても、そこに何らかの「安心」を感じとることができる。しかしながら、臨床宗教師とは、宗教者をそのまま医療現場に導入しようとするものではない。

臨床宗教師は、医療・福祉・被災地などの公共空間において、宗教間協力のもと、布教伝道を行わないケアを行う訓練された宗教者である。仏教・キリスト教だけではなく神道や新宗教など諸宗教の宗教者が、東北大学に始まった養成プログラムを修了し、一般社団法人日本臨床宗教師会の認定を受け、倫理綱領・倫理規約を遵守し、継続的に研修を受け、5年ごとの更新が要求される専門資格である。特に重視していることは、教義によらず、説教をせず、患者の信仰・哲学に沿った「傾聴」を基本態度とすることである。布教（教勢拡大）のための活動ではないことが臨床宗教師の最大の特徴であり、現代における宗教の存在意義にもつながると考えている。

臨床宗教師の養成は東日本大震災直後の2012年から、資格認定は2018年3月に始まったまだ新しい資格である。しかし欧米のチャプレン(chaplain)を日本の風土・心性に合わせようと創設されたため、キリスト教のパストラルケアや仏教の「臨終行儀」など、実践の長い歴史をもつケアともいえる。患者・家族のみならず医療者の相談に応じ、カンファレンスに出席するなど幅広い活躍が期待されている。科学的世界である医療現場に、患者の精神性・宗教性を尊重し支持するケアの存在は、人間としての尊厳ある生を最期まで生きるために必要不可欠であるといえよう。

(大村 哲夫)

編者紹介

- 大石 醒悟** 兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科 救急科 医長
2005年北海道大学医学部卒業。同年神戸市立市民中央病院にて初期研修。国立循環器病センター心臓血管内科レジデントを経て、2010年より現職。
主な著書：『心不全緩和ケアの基礎知識 35』（文光堂）、『実践から識る！心不全緩和ケアチームの作り方』（南山堂）、『心不全治療薬の考え方、使い方』（中外医学社）等
- 高田弥寿子** 国立循環器病研究センター 特定行為研修管理室長
看護師資格取得後、国立循環器病センター勤務。看護教員を経て、2008年大阪府立大学看護学研究科博士前期課程（急性看護学）修了。2009年急性・重症患者看護専門看護師取得。
主な著書：『実践から識る！心不全緩和ケアチームの作り方』（南山堂）、『ホスピス緩和ケア白書 2020 心不全の緩和ケア 心不全のパンデミックに備えて』（青梅社）等
- 竹原 歩** 兵庫県立姫路循環器病センター看護部
兵庫県立看護大学卒業後、1998年兵庫県立姫路循環器病センター救命救急センター勤務。2006年兵庫県立大学大学院。2008年同センター精神科リエゾンチーム専従看護師。2014年同大学看護学部助教を経て、2019年より同センター看護部、兵庫県立大学看護学部臨床講師、兵庫県立大学臨床看護研究支援センター連携研究員、精神看護専門看護師、心臓リハビリテーション指導士、WRAP ファシリテーター。
- 平原佐斗司** 東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター長／オレンジほっとクリニック東京都地域連携型認知症疾患医療センター長
1987年島根大学医学部卒業。同第二内科ほかを経て東京ふれあい医療生活協同組合梶原診療所勤務。
主な著書：『チャレンジ！在宅がん緩和ケア』『チャレンジ！非がん疾患の緩和ケア』『非がん性呼吸器疾患の緩和ケア』『認知症の緩和ケア』（南山堂）、『在宅医療のすべて』（中山書店）、『在宅医療テキスト』（勇美記念財団）等

心不全の緩和ケア

心不全患者の人生に寄り添う医療

2014年 6月15日 1版1刷
2018年 5月10日 4刷
2020年 8月1日 2版1刷

©2020

編者

おおいしやうこ たかだ や す こ たけはら あゆむ ひらはら き と し
大石醒悟 高田弥寿子 竹原 歩 平原佐斗司

発行者

株式会社 南山堂 代表者 鈴木幹太
〒113-0034 東京都文京区湯島 4-1-11
TEL 代表 03-5689-7850 www.nanzando.com

ISBN 978-4-525-24162-9 定価（本体 4,000 円 + 税）

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

複製を行う場合はそのつど事前に（一社）出版者著作権管理機構（電話03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得るようお願いいたします。

本書の内容を無断で複製することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。また、代行業者等の第三者に依頼してスキャンング、デジタルデータ化を行うことは認められておりません。



A 2 4 1 6 2 1 0 2 0 1 - A